

学校名	春日部市立豊野小学校
所在地	埼玉県春日部市銚子口1087
電話	048-735-2112

1 本校の概要

本校は、開校146年目の歴史ある学校であり、児童数357名、14学級（特別支援学級2学級を含む）の中規模の学校である。児童の図書利用場所は3カ所あり、学校図書館の他に、1年生は「にこにこ文庫」、他の学年は渡り廊下に設置した「夢文庫」を活用している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫
- ・学校図書館支援員・学校司書などを活用した取組
- ・図書委員会の活動を通じた取組

(2) 実践の概要

ア 全校朝会での校長講話
学校図書の中から、講話のテーマに合った本の紹介を行う。その後、図書室に掲示する。



イ 学校図書館支援員を活用した環境整備

- ・国語科に合わせた定期的な面出しする本の変更
- ・季節の俳句作成に適した本を前もって準備
- ・ポップの作成
- ・新書の紹介のための廊下掲示
- ・季節に合った掲示物の作成
- ・学校ホームページでの本の紹介

ウ 図書委員会による活動

- ・本の紹介
おススメの本のポップ作り等
- ・ビンゴ読書大会の開催

ビンゴカードに書かれた分類の本を読むとスタンプがもらえ、読書の課題を達成できた児童には、委員会の児童が手作りした菓子を贈呈する。

- ・未返却の児童への催促
- ・本棚の整理

エ 読書タイムの実施

週に1度、15分間の読書をする時間を確保する。

(低学年は紙芝居などの読み聞かせも実施)

オ おはなし会の実施

月に1回、年10回程度、おはなし会の方を招き、本の読み聞かせを行う。

カ 読書貯金カードの活用

読書貯金カードを全校統一で作成し、読んだ本の名前と冊数を累積して記録していく。

キ その他

- ・学校図書館支援員の意見を新書の選定に反映する。
- ・年間を通して、クラスごとにたくさん読書に取り組んだ児童に本の表紙で作ったバックをプレゼントする。
- ・蔵書点検及び蔵書整理

3 成果と今後の課題

(1) 成果

今年度は、蔵書点検と合わせて、古くからある本の整理を行った。中でも貸出状況が悪い本を選別して配架し、児童が求める本がすぐ見つかるように、工夫することができた。

去年に引き続き図書委員会で学期ごとにイベントを計画しながら、本の貸し出しを行った。2学期は、計画通りイベントを行うことができなかったが、低学年と中学年の児童の利用率が高く、1日当たり20人から多い日で60人近くが本を借りており例年と同じくらいの児童が図書室に足を運んでいた。期日になっても本を返却していない児童へ、返却の催促を定期的にするなど、こまめにチェックして借りっぱなしにならないようにしたことが、読書活動の推進につながったようである。

(2) 課題

読書貯金カードは、2年目の取組になった。6年間記録を積み重ねていき、自分の読書の記録を振り返ることができるようにと始めたもので、学年ごとに学習に役立っている。また、読んだ本のページ数を記録し、累計することで、そこまでに積み重ねてきた読書量を把握し、達成感をもたせる取組も兼ねていたが、ページ数の累計は活用しにくかったため、1年ごとに集計する方法に切り替えた。

(3) おわりに

読書貯金カードは読書の推進に繋がっているの、今後継続して取り組んでいけるようにしていきたい。